

秋田県医療保健福祉計画（素案）に関する意見募集の結果について（一覧）

番号	意見の分類	意 見	県の考え方・対応	反映状況
1	医療従事者の育成・確保	2017年11月、厚生労働省は医師の地域偏在を是正するため、地域ごとに医師がどの程度足りないかを示す新たな指標を導入する方針を固めた。そのデータを基に、医師派遣に関する都道府県の権限を強めるなどして平準化を図るとのこと。それに伴い秋田県でも検討されると思うが、是非速やかに行っていただきたい。これまで、秋田市周辺に集中している医師の偏在を是正するためにいろいろ検討されてきたと思うが、改善されているようには見えない。秋田市には大学病院があるから集中するのは当然だろうと言われるが、それだけではないような気がする。 県医務薬事課が公表している秋田医療情報ガイドによると、秋田県厚生連に属する病院を比較してみた場合、秋田厚生医療センターの医師一人あたりの一日平均入院患者数が3.98人、外来患者数が10.41人、雄勝中央病院が入院5.97人、外来17.37人、北秋田市民病院が入院8.86人、外来28.24人と大きな開きがある。経験年数の豊富な医師数の差、診療科や診療内容の違いなどの考慮すべき点はあるが、それにしても差が大きいような気がする。県として厚生連のこうした体制の是正を強く促す事も、医師の偏在の改善につながるのではないだろうか。	厚生労働省においては、二次医療圏ごとの医師偏在指標を踏まえた医師確保計画の策定について、医療法の改正が検討されているところではありますが、法制化の動向にも適切に対応し、医師偏在の改善に取り組んでまいります。 また、医療法に基づき設置している地域医療対策協議会において、医療提供体制の地域・診療科ごとの現状分析や、医師の効果的な確保・配置対策、大学医学部との連携強化等について、今後も協議を行ってまいります。	参 考
2	周産期医療	現在、鹿角市に住んでおります。 産婦人科(分娩機能)が今秋にも隣の大館市に集約されることになるかと思います。 しかし、鹿角市では独自に医師を探す取組を開始しています。県としてもその取組を後押ししていただき、再び鹿角での分娩が開始されるようにしてほしいです。 このまま何もせず集約を受け入れてしまうと、付随する小児科等もなくなるおそれもあり、十分な医療を受けられなくなるということは鹿角という地域の衰退が加速してしまうのは目に見えております。 鹿角、大館地域を1つの地域とせず、ただ、もちろん連携は取りながらお互いの地域の医療を維持していただければと思います。	周産期医療につきましては、身近な地域で出産できる体制維持への要望があること、その一方でハイリスク分娩や急変時への対応が求められていることを踏まえ、安全で安定した医療提供体制が必要との考え方で計画を策定してまいりました。県としましては、身近な地域で安心して出産できる環境を確保するためにも、市町村と連携しながら、不足している産科医師の確保に引き続き力を入れてまいります。	参 考

秋田県医療保健福祉計画（素案）に関する意見募集の結果について（一覧）

番号	意見の分類	意 見	県の考え方・対応	反映状況
3	在宅医療	[素案P203（在宅医療）] 訪問看護の場合、事業所数だけでなく看護師数の影響が大きく、看護師が確保できず休止や廃止する訪問看護ステーションの情報もあるなど、人員確保が大きな課題となっています。 在宅医療の主要な施策に、訪問看護ステーションの大規模化に向けた取組等を検討すると記載されています。しかし、看護師が確保できない現状に対し大規模化ができるのか疑問を感じています。それとも、小規模ステーションを統合するのか、それぞれの運営母体が異なればそれも難しいと思います。訪問看護ステーションの大規模化は理想的ですが、もっと具体的な内容であってほしいと思うところです。 また、訪問診療を行う開業医の多くが、医療依存度が高くなればなるほど、訪問看護との連携が必要不可欠になります。医師のマンパワー不足を補うためにも、在宅医療の推進のためにも訪問看護の役割は大きいものだと考えます。 県民が安心して暮らすためだけでなく、働く側にとってもより良いサービスを提供できるよう、地域包括ケアシステム構築に向けた支援体制をお願いしたいと思っています。	訪問看護ステーションの大規模化については、急変時の対応など24時間対応可能な体制の確保が求められていることも踏まえ、1事業所当たりの従業者数を増やす事業所規模拡大の必要性から記載したものであり、具体的な取組については関係団体とも協議し検討してまいります。 御意見のとおり、規模拡大を可能とするためには人員確保が最も大きな課題となります。このため計画では、看護師等の充足率を上げ、訪問看護ステーションの従業者数の増加を目指すことを施策の重点としております。 次期計画は、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるよう、急性期から在宅医療等に至るまで切れ目のないサービス提供体制の構築を促進していくことを目的に策定していますので、訪問看護師など地域包括ケアシステムを担う人材の確保に努めてまいります。	参 考